

# 新規ヘモダイアフィルタ FIX-Secoの高血流条件下での 除去特性

援腎会すずきクリニック

○入谷麻祐子、鈴木翔太、本田周子、鈴木一裕

## 【目的】

- 前希釈オンラインHDFは、置換液分の透析液流量が低下するため小分子量物質の除去効率が減少する。この除去効率低下は高血流とすることで補うことが出来る。
- 当院では、これまでMFX-Secoを用いて高血流オンラインHDFの除去動態について報告してきた。今回PVP・BPAフリー、トリアセテート膜採用のFIX-Secoがニプロ社より新規発売された。その除去動態についてMFX-Secoと比較検討したので報告する。

# 【方法】

- 使用ヘモダイアフィルター  
FIX-210Seco, FIX-250Seco, MFX-21Seco, MFX-25Seco
- 条件  
QB=400mL/min、QS=200mL/min、tQD=600mL/min
- 評価項目

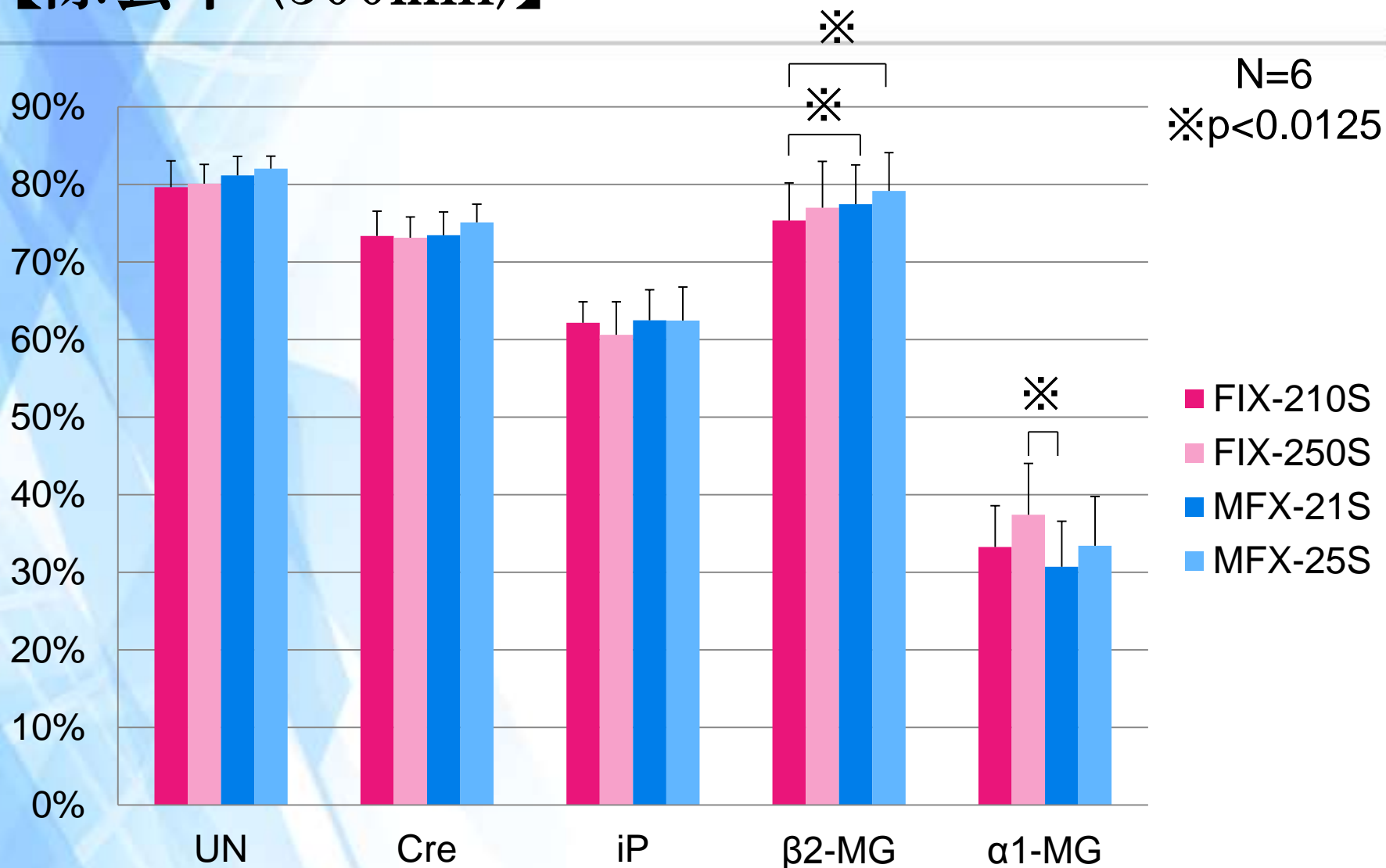
除去率	UN, Cre, iP, $\beta$ 2-MG, $\alpha$ 1-MG
除去量	UN, Cre, iP, $\beta$ 2-MG, $\alpha$ 1-MG, Alb, アミノ酸
除去量の変化率	UN, Cre, iP, $\beta$ 2-MG, $\alpha$ 1-MG, Alb

# 【対象】

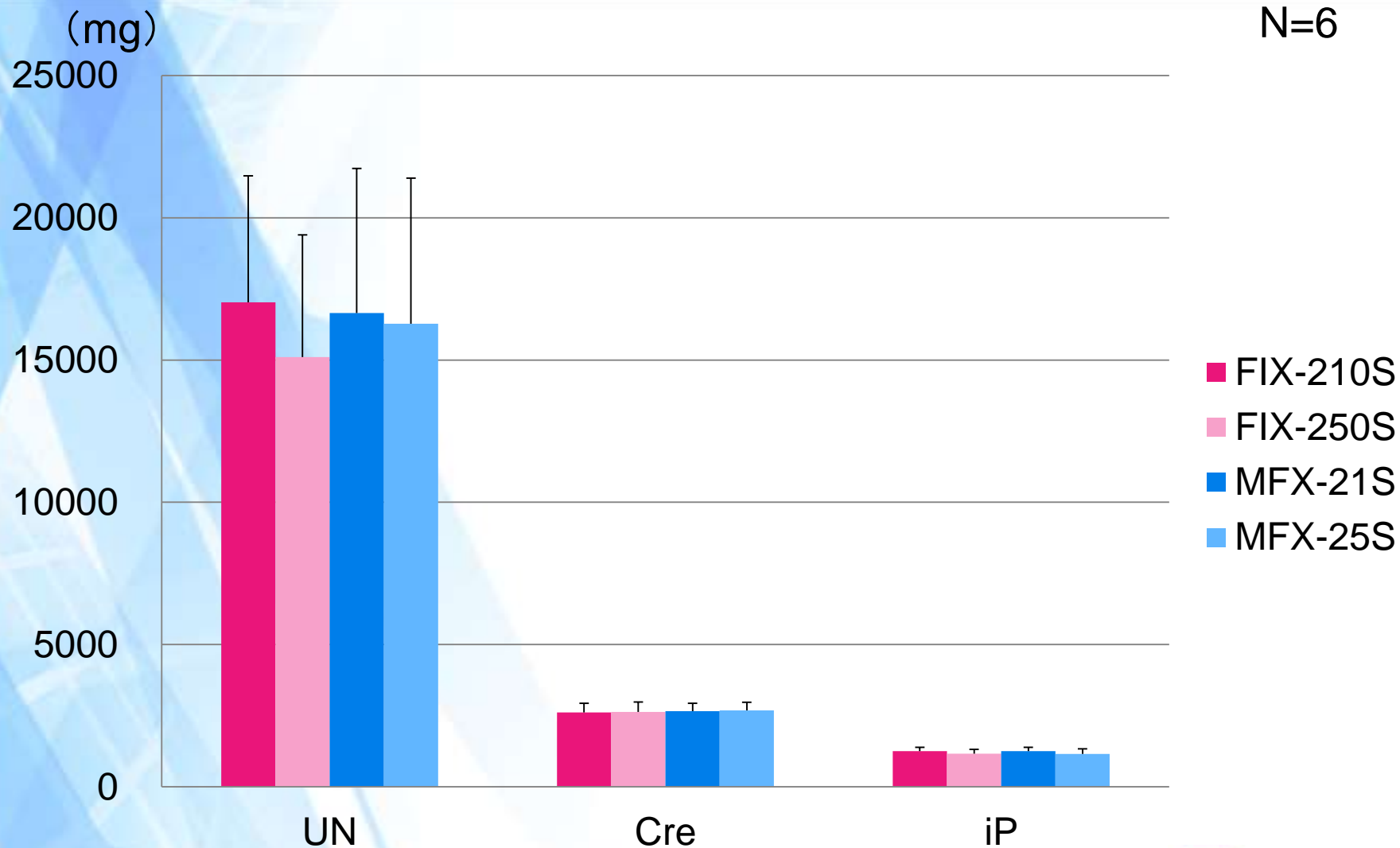
## 慢性維持透析患者6名

年齢	56.7 ± 9.3 歳
透析歴	70.2 ± 59.0 ヶ月
DW	72.0 ± 8.4 kg
透析時間	5 時間
QB	366.7 ± 51.6 mL/min
Kt/V	2.02 ± 0.20
GNRI	96.0 ± 4.7

# 【除去率 (300min)】



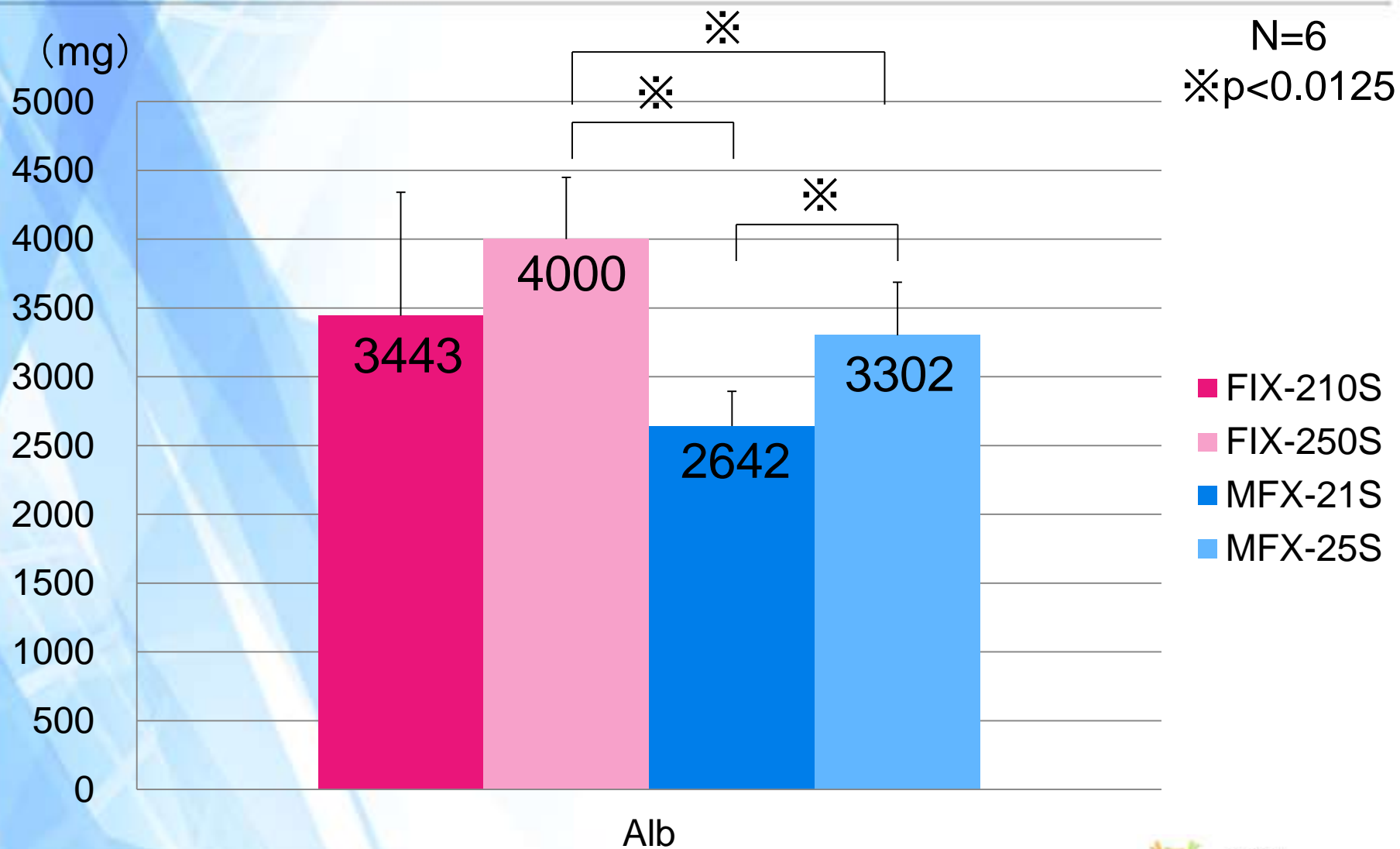
# 【小分子量物質除去量 (300min)】







# 【アルブミン漏出量 (300min)】

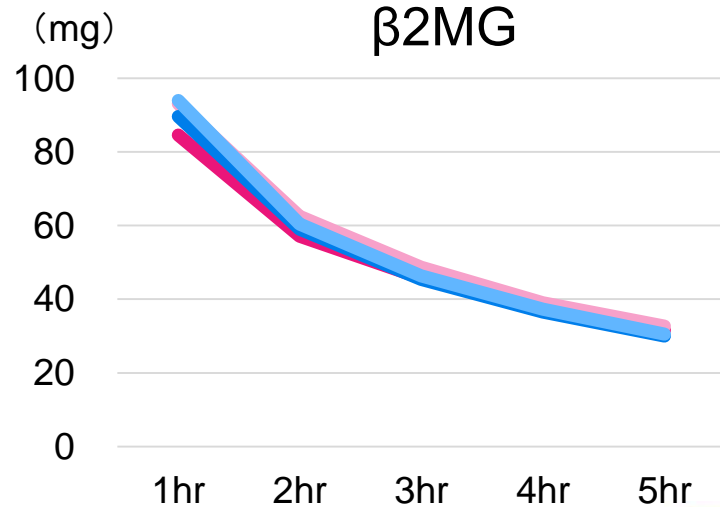
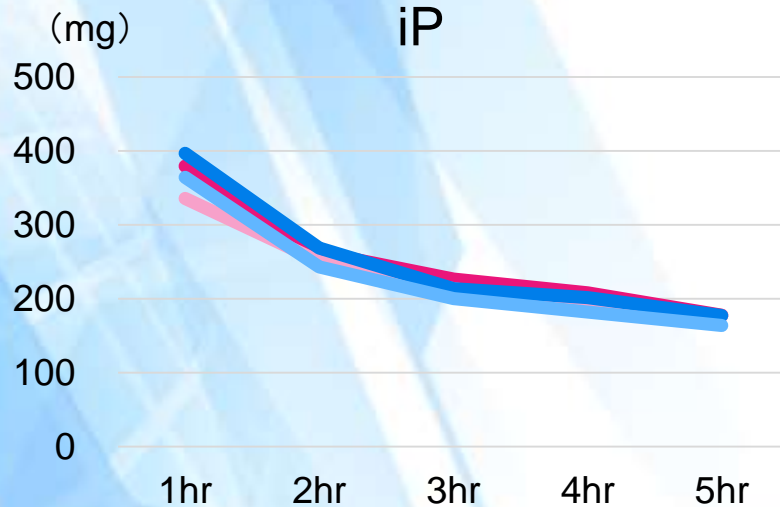
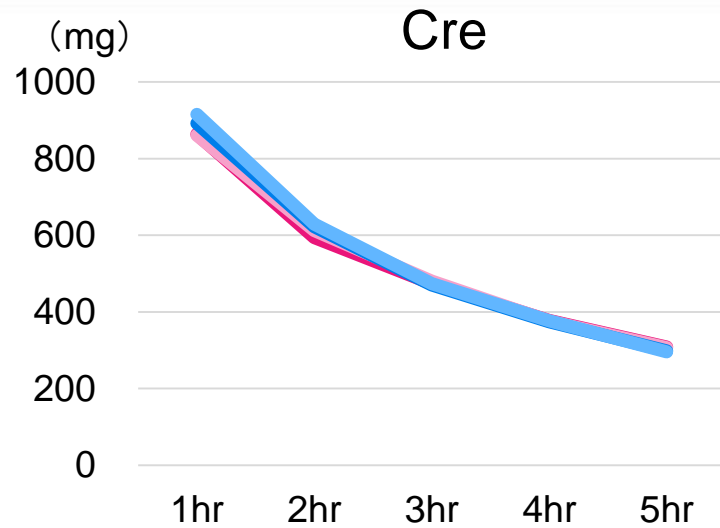
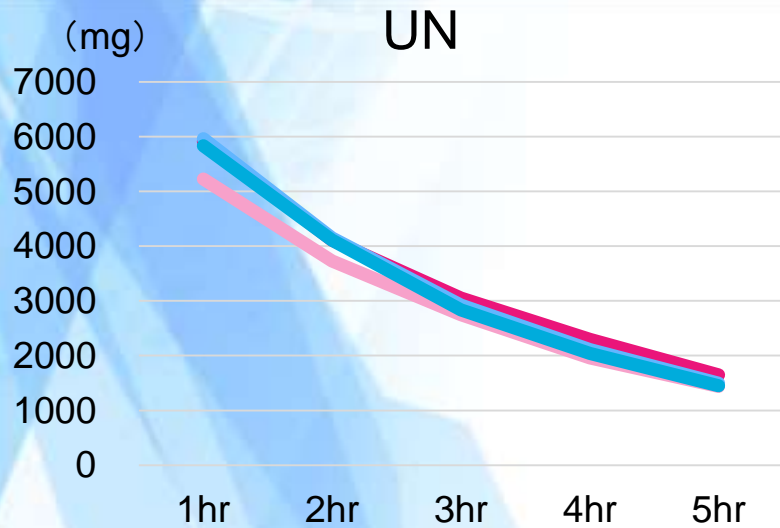








# 【除去量の経時変化 ①】



- FIX-210S
- FIX-250S
- MFX-21S
- MFX-25S





## 【考察】

- FIX-Secoが大分子領域の除去に優れていたのは、膜材質に非対称構造のトリアセテートを採用している為にファウリングが少なく、除去効率が維持されたためと考えられる。
- 5時間、血流400mL/minの高透析量条件でも、MFX-Secoより大分子領域の除去効率が優れ、Alb漏出量は4g以内であり、安全に使用できると考えられる。

## 【結語】

- FIX-Secoは、低分子量蛋白を積極的に除去したい患者へ、安全に適応できる可能性が示唆された。
- 除去動態、生体適合性などの観点からも、FIX-Secoシリーズが発売されたことで選択の幅が広がったと言える。



# ハイパフォーマンス・メンブレン研究会 COI 開示

筆頭発表者名: 入谷 麻祐子

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある企業などとして、

- |              |         |
|--------------|---------|
| ①顧問:         | なし      |
| ②株保有・利益:     | なし      |
| ③特許使用料:      | なし      |
| ④講演料:        | なし      |
| ⑤原稿料:        | なし      |
| ⑥受託研究・共同研究費: | ニプロ株式会社 |
| ⑦奨学寄付金:      | なし      |
| ⑧寄附講座所属:     | なし      |
| ⑨贈答品などの報酬:   | なし      |